

福岡・JAみい

福岡県JAみいが、農水省が認定する「国際果



認定証を受け取る平田組合長(左) (福岡県小郡市で)

国際果実年 JA初サポーター

実野菜年2021」オフイシャルサポーターに決まった。全国のJAで初。野菜・果実を食べる重要性を伝えるリーフレットやレシピを作る。ロゴ付きの農産物も販売し、PRする予定だ。

国連は21年を「国際果実野菜年」と定め、バランスの良い健康的な食事の重要性を訴える。オフイシャルサポーターは農水省が設けた制度。JAは8日付で認定を受けた。現在13団体ある。JA管内は野菜栽培が盛ん。品目は小松菜やサニーレタスなど70品目以上で、野菜販売高は年間約54億円に達する。ホームページや広報誌を通じて、国内生産の実態などを幅広く周知する。

8月には親子料理教室を開き、食農教育を展開する。JA女性部はレシピ考案もする予定。平田浩則組合長は「野菜産地である強みを生かし、健康づくりを推進する。役員一丸となり、積極的に情報を発信していく」と語った。(福岡・みい)